

第1回協議会における主な意見を掲載しています。
(発言内容については、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

【適正配置の考え方に関する意見】

基本計画に基づき、3小学校統合を前提に、協議の場が設けられており、協議会名に「統廃合」を入れるべき。

3校統合を前提とするのか、それとも2校統合も協議の対象となるのか確認したほうが、スムーズに議論が進む。

できれば3校とも残れば良いとの気持ち。校区の実情から、2校を残すこともよいのではないかと思う。

計画に示された目指すべき方向性と具体的方策は「3校統合し新設校建設が望ましい。」新校舎の位置などについて、協議会で地域の合意形成を図りたい。

3校統合で、廃校になる学校がある。統廃合を直視することが適切。

各校区で1校が良いとなったら、協議会の話は必要なくなることになる。

新設場所を含めて協議する中では、統合が前提。

3校統合して新設校という目的を皆が理解しないと協議は前に進まない。立場で譲れないことはあろうが、おりるところはおりないと地域の合意形成は進まない。

規約について、事前の提案はなかった。一度、校区に持ち帰って協議しないと、この場では、簡単には決められない。

(ここで約25分ほど休憩)

第1条(設置の目的)については、各校区に持ち帰り、議論することでどうか。

第1条については、各校区持ち帰りとしたうえで、このあとの議題を進めるため、規約(案)の第3条の組織や第4条の会長及び副会長などの規定に沿って、次の議題に進めることでよいか。

(異議を唱える者はなく次の議題に移る)



【合意の形成に関する意見】

意見がたくさん出て、意見の取りまとめができないのではないかと。意見がまとまらない場合も、新設校は開校するのか。

協議会でまとめた意見を個別の実施計画の策定に反映させていく。

28年頃までに完了とは、29年開校の意味。地質調査、測量、設計、建築に3年程度必要。

基本計画に基づき、3校統合し、新設校を建設することを基本にしている。

【新設校に関する意見】

本当にこの方法で、子どもたちに生きる力を養えるのか、統合したときに、どのような学校経営・運営をしたら、本当に良い方向に進むのか、その答えが欲しい。

大分市のリーディングスクール、小中一貫教育のモデルとなる新設校を建設することがこの校区の子どもたちにとって、地域にとって、目指すべき方向性。

協議会の中で、新しい学校像をイメージできるような素案が、早いうちに示されるのか。事務局がリーダーシップをとり、整理して示してもらいたい。

【地域の懸念に関する意見】

確かに防災と小中一貫教育は地域住民の懸念ではあるが、統合するかどうかが大きな懸念。

防災の講演では、安心安全な立地条件のもとで新設校の場所についての検討に結びつくような内容の講話を望む。

小中一貫教育の講演では、推進(メリット)と問題点(デメリット)を平等に取り扱って提示して欲しい。



協議会の会長に選任された吉田氏(中央)と副会長の瑞木氏(左)・江藤氏(右)が協議事項を確認中

規約(案)は持ち帰り
各校区で合意に向け協議

第一回の会合では、主に、協議会の目的や組織などの「規約」に関することと防災や小中一貫教育など住民の懸念に関することについて協議を行いました。今後、協議会では、新設校の位置や特色、通学環境、地震・津波対策といった防災の機能や地域コミュニティ促進の機能などについて、地元の合意形成を図ることとしています。

第二回地域協議会は十月二十三日(火)開催予定

第二回の協議会は、十月二十三日(火)午後六時三十分から、大分文化会館第2小ホールで開催します。各校区で持ち帰り検討することとなった規約の再協議などを行う予定です。

基本計画Q&A

このコーナーでは、基本計画について、地域の皆さんから疑問に思われることについて、教育委員会事務局から回答する形で、計画の概要を解説します。他にも疑問に思うことがあれば、お気軽にお尋ねください。

Q どこが廃止され、どこが残るのですか？

新設校を創設します

計画の「3校を統合し、新設校を建設」とは、2校を廃止して、どこか1校に統合するというのではなく、新しい学校を創設すると言う意味です。

Q 基本計画で、碩田中学校区の3小学校はどうなるの？

3校統合新設校建設

碩田中学校区には、校舎の建築年数が5年を超えている小学校が複数あります。そのうち、現在、荷揚町小学校の校舎は建築後5、6年、住吉小学校の南校舎は5、5年が経過しています。また、中島小学校の西校舎も四、六年が経過しています。

この3校の校舎は、いずれも建て替えまたは補強が必要であり、子どもたちにとって、早期に教育環境の充実が望まれます。

Q 2校統合案だと？

より良い教育環境の創造

少子化が進む中で、2校を統合し、1校が存続する場合、同じ中学校区に小規模校が1校残ることになり、現在及び将来の子どもたちにとって教育環境はどのようなのかといった心配が生じます。碩田中学校区の適正配置については、限られた財源を有効に活用しながら、3校を統合したうえで新設校を建設し、より良い教育環境の創造を目指します。

少子化で児童数激減？

Q なぜ、統廃合の議論が必要なのですか？

大分市では、ここ数年、児童数はほぼ横ばい状態が続いていますが、こうした中でも、少子化は進んでおり、児童数は昭和五十年代のピーク時の約六割に減少しています。また平成一七年度を一〇〇とした年少人口(〇〜四歳の子ども数)は平成四七年度には、六四・九まで減少するとした統計資料もあります。

< 協議会の委員一覧 >

(敬称略)

所 属 等		氏 名	所 属 等		氏 名
荷揚	自治委員連絡協議会	瑞木 啓司	住吉	自治委員連絡協議会	江藤 利春
	自治委員連絡協議会	中村 信幸		自治委員連絡協議会	奥野 鯛二
	自治委員連絡協議会	牧 博彦		自治委員連絡協議会	村山 一記
	民生委員児童委員協議会	中尾 豊子		住吉小学校PTA	分藤 貴弘
	民生委員児童委員協議会	田島 明美		住吉小学校PTA	檜原 麻衣子
	荷揚町小学校PTA	安部 晴夫		住吉小学校PTA	杉安 香織
	荷揚町小学校PTA	二宮 由美		青少年健全育成連絡協議会	佐藤 貴士
	社会福祉協議会	安部 いつ子		民生委員児童委員協議会	吉武 朋子
	青少年健全育成連絡協議会	菅 明久		主任児童委員	岩田 祥子
	人権擁護委員	樋口 貴美子		住吉校区公民館長	大塚 雅宏
中島	自治委員連絡協議会	吉田 淳	碩田	碩田中学校PTA	濱崎 光章
	自治委員連絡協議会	帯刀 剛二	教委	荷揚町小学校長	大石 緑
	自治委員連絡協議会	植木 公則		中島小学校長	佐藤 文登
	自治委員連絡協議会	竹上 健司		住吉小学校長	梶原 修子
	自治委員連絡協議会	川上 克規		碩田中学校長	伊藤 進
	自治委員連絡協議会	村山 一三		教育指導課長	江藤 郁
	中島小学校PTA	佐藤 憲幸		学校施設課長	渡邊 未己
	民生委員児童委員協議会	川上 絹枝		教育企画課長	奈須 寿郎
	社会福祉協議会	山崎 靖信			
	青少年健全育成連絡協議会	井戸田 剛			

防災・小中一貫教育講演会

学校の適正配置に関連して、地域の皆さんの関心の高い内容についての講演会を開催します。いずれの講演会も1時間程度の講演のあと、参加者からの意見や質疑の時間を設けます。お誘い合わせのうえ、多数の皆さまのご参加をお願いします。

会場はいずれも大分文化会館第2小ホールです。定員は200名で、先着順に受け付けます。

< 編集後記 >

碩田中学校区の学校の配置に関して、地域の代表者等により構成された協議会が発足しました。協議会では、協議会の様子を広くお知らせするため、協議会だよりを発刊することとし、今後も積極的な情報発信に努めてまいります。協議の要旨については、市のホームページにも公表しています。今後とも、協議会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1 防災に関する講演会

日時 9/25(火) 18:30 ~ 20:30
 講師 大分大学工学部 小林祐司准教授
 演題 「災害に対して“しなやか”であるための防災教育とコミュニティ」

2 小中一貫教育に関する講演会

日時 10/3(水) 18:30 ~ 20:30
 講師 大分大学教育福祉科学部 伊藤安浩教授
 演題 「小中一貫教育の意義と期待される効果」

(仮称)碩田中学校区適正配置地域協議会だより「第1号」

発行:平成24年9月
 発行者:(仮称)碩田中学校区適正配置地域協議会
 事務局:大分市教育委員会教育企画課
 連絡先:(住所) 大分市荷揚町2-31
 (TEL) 097-537-5903(直通)
 (E-mail) kyoikukikaku@city.oita.oita.jp